

「ないなら作ったらええやん。」  
 “ザ・職人”の職場環境を支える、お湯の存在。



大阪で車・バイク・自転車などのカスタムパーツの設計から製作までを一手に請け負う町工場、「マシンファクトリーフェアル」を経営する星野さん。家から工場までが遠いため、工場で寝泊まりすることが多い中、近くの銭湯が早く閉まってしまうので「工場でお湯が出ればいいのに・・・」と常々考えてはいたけれど、工場地帯で都市ガスが通っていないため、ガス湯沸かし器を入れられない。プロパンも考えたが、工場で料理をするわけでもなく、わざわざガスの基本料金を支払ってプロパンを入れる必要があるか？—ない。電気温水器は前職の工場で使っていたけれど、一般的に工場の電気契約で導入が可能な電気温水器は非常に高額。なんとか他の会社で電気温水器を提供している会社はないかと思ってインターネットで検索をかけたところ、スティーベルの電気温水器 Tempra Plusを発見したとのことだ。

### 導入先情報

- > 会社名: マシンファクトリー フェアル
- > 取材対応者様: 星野 史様
- > 事業内容: 車・バイク・自転車のカスタムパーツ製作事業
- > 住所: 大阪府八尾市西弓削2-44
- > ホームページ: <http://mf-feal.com/>

### 導入機器

- > Tempra 20 Plus
- > 三相 200V
- > ヒーター容量 20kW
- > 号数 11.4号
- > 導入場所: 工場内

**STIEBEL ELTRON**



## 「お湯が出たらなあ...」

—なぜ温水器を工場に入れようと思ったのでしょうか？

工場では水しか出ませんのでね。仕事で家に帰らないことが増えてしまって...ここ(工場)から近い銭湯は10時に閉まってしまうんですけど、そもそもそんな時間に銭湯に行けないんですよ(笑)あと、ここは冬場とても寒いので、ここにお湯が引けてシャワーが付けられたらなあ、と常々思っていたんです。

—ご多忙なんですね。

うちは車・バイク・自転車なんかのパーツでも、市場に出回っていないパーツをカスタムメイドで設計から加工からを一手で請け負っている工場なんですけど、図面をいただけるお客さまもいらっしゃいますけれど、口頭ベースで「こんなパーツ作れる?」「これのここをこっちに持ってきたようなもんでいい?」といったざっくりとしたお話をいただくことが多いんです。そこからアイデアをひねり出したり、強度的に問題がないか、コスト的にお客さまの負担にならないかなどを考えていると、時間がかかっちゃうじゃないですか。特に僕は設計から製作まで一人で全部やっていますので、工場にいる時間がどうしても長くなってしまいうんですよ。

—どうしてガス湯沸かし器を検討されなかったんですか？

ここは住宅を建ててはいけないうち地域、いわゆる工場用の土地でして、ガスが通っていないんです。ガスを入れようとするとうち工事代からガスの基本料金からと、かなりコストがかかってきますし、お湯だけのために毎月基本料金払うのはもったいないじゃないですか。しかもプロパンですから減ってきたら交換してもわからないといけませんし。うちは工場ですから、動力(三相200V電源の意)を引いているので電気代が安価ですし、だからどうしても動力で使える電気温水器が欲しかったんです。

マシンファクトリー フェアル

星野 史(ほしの ふひと)様(39)

「こんなん作れる?」のレベルでもお客さまのご要望に合わせて、パーツを一つから受注。CADでの製図から製造まで全て自社、そして一人で行うことができる。「(市場に)ないなら作ったらええやん。」とポジティブな感性をもつ、何とも器用な職人だ。

趣味は車・バイク・自転車。最近自転車で怪我をしたのでしばらく無茶はできないとのこと。

## 「動力の温水器なんかあかんで」

—電気温水器にも色々ありますが、なぜスティーベル製品に？

色々調べたんですが、他社製品は既製品だとほとんどタンクが必要だったり、100Vか200Vの単相の家庭用のものしかなくて、三相となると受注生産ばかりでかなり高額なんです。前職(工場)のお風呂には日本製の電気温水器が入っていたんですけど、やっぱり高額だし、あとその商品はすごく高い温度でお湯は出るんですが図体がかなり大きくて...

正直、スティーベル製品より安い商品を提供しているメーカーもあったんですけど、でもある一社に質問をしたんですけど、ちゃんとした答えが返ってこなかったんです。その点、スティーベルの温水器は小さいですし、見積りを取ってそこまで高額ではなかったのと、ホームページで仕様も結線図もダウンロードできて全て必要なものがウェブにあってしっかりした会社に見えたので、この会社の商品がいいな、と思いました。

そう、あとアメリカの会社の電気温水器もありましたね。でも僕も工業系の仕事ですので、やっぱり工業製品でアメリカ製かドイツ製かを選ぶんだったら...やっぱりドイツかな、ってことで、ドイツ製のスティーベル製品にしました(笑)

—知り合いの工務店さんに動力の温水器はやめておけ、と言われたそうですが？

そうなんです。先ほどご説明したように、僕は動力の温水器が欲しいと思って知り合いの工務店さんに相談したら、はじめ「動力の温水器なんかあかんで。」と断られました。それで自分で調べることになったんですけどね。

スティーベル製品を見つけて工務店さんに改めて相談したら、「瞬間式は手洗い場とかならわかるけどシャワーで使うの無理ちゃうか?」と言われました。でも僕は三相(三相)あるから絶対いけるはずや!とひかなくて、仕様を見た工務店さんも「号数からしたら、シャワーでもいけそうやな...」と言ってくれたので、それで温水器を取り寄せてもらったんです。でも設置するまで「(筐体が)こんな小さいけど大丈夫なんかこれ?何があってしらんで!ほんまにシャワーヘッドつけるん?ほんまにしらんで!」と色々言われましたね~(笑)

でも、実際設置して動かしてみたら、設置していただいた業者さんも「うわ!めっちゃ熱いお湯でやるんこれ!全然問題ないな~!」と驚いてらして、お互い大喜びしました。



シャワー室

**STIEBEL ELTRON**



## 「お湯が出るのがこんなにありがたいと思っただことなかった」

— 温水器は主にどういった用途で使用していらっしゃいますか？

シャワーですね。たまたま工場のトイレが広くて、シャワー室としても利用できる大きさだったのでシャワーヘッドを取り付けて使っています。他には、食器などの洗い物の際に温水を利用したり、高圧洗浄機に低めの温度のお湯を入れて、洗車にもつかったりします。さっきも言いましたが、冬場の工場って寒いんですよ。お湯が出るってことがこんなにありがたいと思っただことなかったですね。

— 温水器は問題なく稼働していますか？

全然問題ないです。温度が急に冷たくなったり熱くなったりというブレもないです。

— 最後に、何か一言いただけますか？

瞬間式電気温水器で、この価格でこのパワー、コンパクトで設置にも困らない、まして動力で使用可能、動力の契約によりますが、基本料金も発生しないため町工場ではかなり重宝すると思います。しいて言うなら、心配なのは耐久性ぐらいです。

日本では「電気温水器はあかん」という風潮がある気がしますが、単に皆さん知らないだけで、知ってもらえればもっと普及すると思いますよ。

— ありがとうございました。



Tempra 20 Plusは水道の工事のみ工務店さんにお願ひ、星野さんは電気工事士の資格を持っているのであとは自分で取付けたそう。取付時にトタンに直接Tempra Plusを取り付けられないと気づき、すぐにその辺りにあった廃材から取付台を作ったとのこと。なんでも器用にこなす星野さんだからこそできる荒業だ。



工場外観



写真ではわかりにくいですが、フロントフォークの先端についている青い部品が星野さんのオリジナルパーツで主力製品。オフロードで岩などにぶつけて破損しないようにガードする部品だそうです。



工場内には自動工作機械から旋盤、溶接機器からCAD用のマシンまで、設計から製造までに必要な機械がところ狭しと置かれている。

**STIEBEL ELTRON**

### 基本用語メモ

「単相と三相」

電気の送り方には「単相」と「三相」の2種類があります。「単相」は家電などの容量の小さい電気製品に電気を送る際に使用します。一般家庭では通常「単相」が引かれています。

「三相」は産業用機械などの容量の大きな電気製品に電気を送る際に使用します。一般的に工場では「三相」が引かれています。